

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2021.2.1-7**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

- 9:1 イエスは舟に乗って湖を渡り、自分の町に帰られた。
- 9:2 すると、人々が中風の人を床に寝かせたままで、みもとに運んで来た。イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。しっかりしなさい。あなたの罪は赦された。」と言われた。
- 9:3 すると、律法学者たちは、心の中で、「この人は神をけがしている。」と言った。
- 9:4 イエスは彼らの心の思いを知って言われた。「なぜ、心の中で悪いことを考えているのか。」
- 9:5 『あなたの罪は赦された。』と言うのと、『起きて歩け。』と言うのと、どちらがやさしいか。
- 9:6 人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために。」こう言って、それから中風の人に、「起きなさい。寝床をたたんで、家に帰りなさい。」と言われた。
- 9:7 すると、彼は起きて家に帰った。
- 9:8 群衆はそれを見て恐ろしくなり、こんな権威を人にお与えになった神をあがめた。
- 9:9 イエスは、そこを去って道を通りながら、收税所にすわっているマタイという人をご覧になって、「わたしについて来なさい。」と言われた。すると彼は立ち上がって、イエスに従った。
- 9:10 イエスが家で食事の席に着いておられるとき、見よ、取税人や罪人が大ぜい来て、イエスやその弟子たちといっしょに食卓に着いていた。
- 9:11 すると、これを見たパリサイ人たちが、

イエスの弟子たちに言った。「なぜ、あなたがたの先生は、取税人や罪人といっしょに食事をするのですか。」

9:12 イエスはこれを聞いて言われた。「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。」

9:13 『わたしはあわれみは好むが、いけにえは好まない。』とはどういう意味か、行って学んで来なさい。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」

当時イスラエルでは、病の原因は罪であるから、病の人は罪人であると考えられていました。イエス様は、癒しと同時に罪の赦しを宣言なさったことは、その両方の権威と力があることの証明です。私たちは、病の人を罪人とするのは間違いです。パウロもヨブも病になりましたが、それは神様の愛と真理を教えるためでした。しかし、自分が病になったときは、主の前に自分の足りなさや汚れを認めることは良いことです。パウロやヨブが最終的に主の深い真理に到達できたのも、そのようなへりくだりがあったからです。

マタイは自分の救いについて書いています。それもまた奇跡の列の中に加えているのです。つまり彼は、自分のような罪人が救われるのは奇跡中の奇跡だと思っていたということです。このような思いが大切です。そこから感謝が生まれ、良い行いが生まれます。またそこから主への信頼が生まれ、強い信仰による勝利が与えられるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 2日 火曜

### マタイ

9:14 するとまた、ヨハネの弟子たちが、イエスのところに来てこう言った。「私たちとパリサイ人は断食するのに、なぜ、あなたの弟子たちは断食しないのですか。」

9:15 イエスは彼らに言われた。「花婿につき添う友だちは、花婿がいっしょにいる間は、どうして悲しんだりできましょう。しかし、花婿が取り去られる時が来ます。その時には断食します。」

9:16 だれも、真新しい布切れで古い着物の継ぎをするようなことはしません。そんな継ぎ切れは着物を引き破って、破れがもっとひどくなるからです。

9:17 また、人は新しいぶどう酒を古い皮袋に入れるようなことはしません。そんなことをすれば、皮袋は裂けて、ぶどう酒が流れ出てしまい、皮袋もだめになってしまいます。新しいぶどう酒を新しい皮袋に入れれば、両方とも保ちます。」

9:18 イエスがこれらのことを話しておられると、見よ、ひとりの会堂管理者が来て、ひれ伏して言った。「私の娘がいま死にました。でも、おいでくださって、娘の上に御手を置いてやってください。そうすれば娘は生き返ります。」

9:19 イエスが立って彼について行かれると、弟子たちもついて行った。

9:20 すると、見よ。十二年の間長血をわずらっている女が、イエスのうしろに来て、その着物のふさにさわった。

9:21 「お着物にさわることでもできれば、きっと直る。」と心のうちで考えていたからである。



9:22 イエスは、振り向いて彼女を見て言われた。「娘よ。しっかりしなさい。あなたの信仰があなたを直したのです。」すると、女はその時から全く直った。

9:23 イエスはその管理者の家に來られて、笛吹く者たちや騒いでいる群衆を見て、

9:24 言われた。「あちらに行きなさい。その子は死んだのではない。眠っているのです。」すると、彼らはイエスをあざ笑った。

9:25 イエスは群衆を外に出してから、うちにおはいりになり、少女の手を取られた。すると少女は起き上がった。

9:26 このうわさはその地方全体に広まった。

イエス様が旧約の律法を超えた方であるということが、ここで明らかにされています。断食は苦しい修行のようなものでしたが、今やイエス様がおられるので、その必要はなく交わりを喜ぶ時がきました。もしも私たちが断食するなら、それは祈りを楽しむ時です。

このように新しい福音は、新しい皮袋のような価値観と生き方が伴わなくてはなりません。

会堂管理者の娘が死んだことは悲しみですが、イエス様はその途中で長血の女を癒やされました。肉体の死はもはや絶対的な絶望ではなく、永遠の命によって希望の入り口なのです。イエス様は長血という病の人にも同じように愛を顯してください。

死を希望の入り口としましょう。またどんな痛みをもイエス様は分かってくくださいますから、イエス様に頼りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 3日 水曜

### マタイ



9:27 イエスがそこを出て、道を通って行かれると、ふたりの盲人が大声で、「ダビデの子よ。私たちをあわれんでください。」と叫びながらついて来た。

9:28 家にはいられると、その盲人たちはみもとにやって来た。イエスが「わたしにそんなことができるか。信じることか。」と言われると、彼らは「そうです。主よ。」と言った。

9:29 そこで、イエスは彼らの目にさわって、「あなたがたの信仰のとおりになれ。」と言われた。

9:30 すると、彼らの目があいた。イエスは彼らをきびしく戒めて、「決してだれにも知られないように気をつけなさい。」と言われた。

9:31 ところが、彼らは出て行って、イエスのことをその地方全体に言いふらした。

9:32 この人たちが出て行くと、見よ、悪霊につかれたおしが、みもとに連れて来られた。

9:33 悪霊が追い出されると、そのおしはものを言った。群衆は驚いて、「こんなことは、イスラエルでいまだかつて見たことがない。」と言った。

9:34 しかし、パリサイ人たちは、「彼は悪霊どものかしらを使って、悪霊どもを追い出しているのだ。」と言った。

9:35 それから、イエスは、すべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病気、あらゆるわずらいを直された。

9:36 また、群衆を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかかわいそうに思われた。

9:37 そのとき、弟子たちに言われた。「収穫

は多いが、働き手が少ない。

9:38 だから、収穫の主は、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」

マタイは10の奇跡を記録して、それが新約におけるモーセの奇跡であることを明らかにしました。(モーセは出エジプトのときに、エジプトに対して10の奇跡をもたらしました。)

その最後がこの奇跡であって、それは目が見えるようになったことでした。大切なのはこの点です。私たちの心の目が見えるようになり、神様の御心と真理が分かるようになることです。

私たちは主のみわざを期待して祈ります。時には超自然的な奇跡をも体験するでしょう。それは、私たちの目が見えるようになることであり、そこにみわざの目的があるのだと知しましょう。

ですから、主に願い祈っている人は、同時に主が何を教えようとしておられるかを求めましょう。

愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、



## ➤ 4日 木曜

### マタイ



10:1 イエスは十二弟子を呼び寄せて、汚れた霊どもを制する権威をお授けになった。霊どもを追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいを直すためであった。

10:2 さて、十二使徒の名は次のとおりである。まず、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、

10:3 ピリポとバルトロマイ、トマスと取税人マタイ、アルパヨの子ヤコブとタダイ、

10:4 熱心党员シモンとイエスを裏切ったイスカリオテ・ユダである。

10:5 イエスは、この十二人を遣わし、そのとき彼らにこう命じられた。「異邦人の道に行ってははいけません。サマリア人の町には行ってはいけません。

10:6 イスラエルの家の滅びた羊のところにいきなさい。

10:7 行って、『天の御国が近づいた。』と宣べ伝えなさい。

10:8 病人を直し、死人を生き返らせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出しなさい。あなたがたは、ただで受けたのだから、ただで与えなさい。

10:9 銅巻きに金貨や銀貨や銅貨を入れてはいけません。

10:10 旅行用の袋も、二枚目の下着も、くつも、杖も持たずに行きなさい。働く者が食べ物を与えられるのは当然だからです。

10:11 どんな町や村にはいっても、そこでだれが適当な人かを調べて、そこを立ち去るまで、その人のところにとどまりなさい。

10:12 その家にはいるときには、平安を祈る

あいさつをしなさい。

10:13 その家がそれにふさわしい家なら、その平安はきっとその家に来るし、もし、ふさわしい家でないなら、その平安はあなたがたのところに返って来ます。

10:14 もしだれも、あなたがたを受け入れず、あなたがたのことばに耳を傾けないなら、その家またはその町を出て行くときに、あなたがたの足のちりを払い落としなさい。

10:15 まことに、あなたがたに告げます。さばきの日には、ソドムとゴモラの地でも、その町よりははまだ罰が軽いのです。

イエス様が弟子を任命した記事です。それは信徒の間に上下関係をつくるためではなく、主のみわざをなす権威を授けて、宣教をするためでした。今日の教会でも同じです。教会に役割があり、指導的な人があるのは、上下関係のためではありません。ただ主のみざわを行うためです。それにふさわしい者となりましょう。

持ち物を最小にするのは、主に頼るためです。ということは、自分自身が武装されていなくても、その点で十分と思えなくても、主がおられるので宣べ伝えましょう。一番大切な武装は、主に頼るという信仰です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 5日 金曜

### マタイ



10:16 いいですか。わたしが、あなたがたを遣わすのは、狼の中に羊を送り出すようなものです。ですから、蛇のようにさとく、鳩のようにすなおでありなさい。

10:17 人々には用心しなさい。彼らはあなたがたを議会に引き渡し、会堂でむち打ちますから。

10:18 また、あなたがたは、わたしのゆえに、総督たちや王たちの前に連れて行かれます。それは、彼らと異邦人たちにあかしをするためです。

10:19 人々があなたがたを引き渡したとき、どのように話そうか、何を話そうかと心配するには及びません。話すべきことは、そのとき示されるからです。

10:20 というのは、話すのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあって話されるあなたがたの父の御霊だからです。

10:21 兄弟は兄弟を死に渡し、父は子を死に渡し、子どもたちは両親に立ち逆らって、彼らを死なせます。

10:22 また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人々に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

10:23 彼らがこの町であなたがたを迫害するなら、次の町にのがれなさい。というわけは、確かなことをあなたがたに告げるのですが、人の子が来るときまでに、あなたがたは決してイスラエルの町々を巡り尽くせないからです。

10:24 弟子はその師にまさらず、しもべはその主人にまさりません。

10:25 弟子がその師のようになれば十分だ

し、しもべがその主人のようになれば十分です。彼らは家長をベルゼブルと呼ぶぐらいですから、ましてその家族の者のことは、何と呼ぶでしょう。

10:26 だから、彼らを恐れてはいけません。おおわれているもので、現わされないものはなく、隠されているもので知られずに済むものはありません。

10:27 わたしが暗やみであなたがたに話すことを明るみで言いなさい。また、あなたがたが耳もとで聞くことを屋上で言い広めなさい。

10:28 からだを殺しても、たましいを殺せない人たちなどを恐れてはなりません。そんなものより、たましいもからだも、ともにゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい。

10:29 ニ羽の雀は一アサリオンで売っているでしょう。しかし、そんな雀の二羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはありません。

10:30 また、あなたがたの頭の毛さえも、みな数えられています。

10:31 だから恐れることはありません。あなたがたは、たくさんの雀よりもすぐれた者です。

10:32 ですから、わたしを人の前で認める者はみな、わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。

10:33 しかし、人の前でわたしを知らないと言うような者なら、わたしも天におられるわたしの父の前で、そんな者は知らないと言います。

えを語っておられます。それはそのまま私たちに語られているものです。用心すること、しかし心配する必要はないことです。私たちは師であるイエス様を超える必要はないのですから、弱いままで十分であるということです。

ただ、人前で主イエスを認めることは求められています。そのような人を、主も「父の前で…認めます。」と約束しておられます。どんなことにこの心備えを適用できるでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

この世に出てゆく弟子たちに、主イエスが心備



## ➤ 6日 土曜

### マタイ



10:34 わたしが来たのは地に平和をもたらすためだと思っはなりません。わたしは、平和をもたらすために来たのではなく、剣をもたらすために来たのです。

10:35 なぜなら、わたしは人をその父に、娘をその母に、嫁をそのしゅうとめに逆らわせるために来たからです。

10:36 さらに、家族の者がその人の敵となります。

10:37 わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。また、わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。

10:38 自分の十字架を背負ってわたしについて来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。

10:39 自分のいのちを自分のものとした者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失った者は、それを自分のものとしませう。

10:40 あなたがたを受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。また、わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れるのです。

10:41 預言者を預言者だということで受け入れる者は、預言者の受ける報いを受けませう。また、義人を義人だということで受け入れる者は、義人の受ける報いを受けませう。

10:42 わたしの弟子だということで、この小さい者たちのひとりに、水一杯でも飲ませるなら、まことに、あなたがたに告げませう。その人は決して報いに漏れることはありません。」

重要さんについて語られています。それは地上の平和よりも、肉親の情よりも重要だということです。どちらも大切であることには違いないのですが、永遠の救いはそれらよりも重要です。

また本当に主によって与えられる平和な関係でなければ、この世の平和は不安定であって、単に利害が一致しているに過ぎない場合があります。何よりも完全な愛によらないなら、状況しだいでは骨肉の争いにもなるのです。

ならばそのような不安定なものを最優先にするあまり、神様の平和、また完全な愛を失ってしまつては本末転倒になってしまうということです。イエス様を愛する者は、本当の愛で家族を愛することのできる者となるのです。

いのちもまた同じで、肉の命が大切だからと言つて、永遠の命をないがしろにするなら、それは本末転倒です。イエス様を第一に愛して、その健全な信仰によって、家族をまた自分自身の人生を愛しましませう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:1 イエスはこのように十二弟子に注意を  
与え、それを終わられると、彼らの町々で教  
えたり宣べ伝えたりするため、そこを立ち去  
られた。

11:2 さて、獄中でキリストのみわざについて  
聞いたヨハネは、その弟子たちに託して、

11:3 イエスにこう言い送った。「おいでにな  
るはずの方は、あなたですか。それとも、私  
たちは別の方を待つべきでしょうか。」

11:4 イエスは答えて、彼らに言われた。「あ  
なたがたは行って、自分たちの聞いた見たり  
していることをヨハネに報告しなさい。

11:5 盲人が見え、足なえが歩き、らい病人がき  
よめられ、つんぼの人が聞こえ、死人が生き  
返り、貧しい者には福音が宣べ伝えられてい  
るのです。

11:6 だれでも、わたしにつまずかない者は幸  
いです。」

11:7 この人たちが行ってしまうと、イエス  
は、ヨハネについて群衆に話された。

「あなたがたは、何を見に荒野に出て行った  
のですか。風に揺れる葦ですか。

11:8 でなかったら、何を見に行ったのですか。  
柔らかい着物を着た人ですか。柔らかい着物  
を着た人なら王の宮殿にいます。

11:9 でなかったら、なぜ行ったのですか。預  
言者を見るためですか。そのとおり。だが、  
わたしが言いましょう。預言者よりもすぐれ  
た者をです。

11:10 この人こそ、『見よ、わたしは使いを  
あなたの前に遣わし、あなたの道を、あなた  
の前に備えさせよう。』と書かれているその  
人です。

11:11 まことに、あなたがたに告げます。女  
から生まれた者の中で、バプテスマのヨハ  
ネよりすぐれた人は出ませんでした。しか  
も、天の御国の一番小さい者でも、彼より  
偉大です。

11:12 バプテスマのヨハネの日以来今日まで、  
天の御国は激しく攻められています。そし  
て、激しく攻める者たちがそれを奪い取っ  
ています。

11:13 ヨハネに至るまで、すべての預言者た  
ちと律法とが預言をしたのです。

11:14 あなたがたが進んで受け入れるなら、  
実はこの人こそ、きたるべきエリヤなの  
です。

11:15 耳のある者は聞きなさい。

11:16 この時代は何にたとえたらよいで  
しょう。市場にすわっている子どもたちの  
ようです。彼らは、ほかの子どもたちに呼  
びかけて、

11:17 こう言うのです。『笛を吹いてやって  
も、君たちは踊らなかつた。弔いの歌を  
歌ってやっても、悲しmanaかつた。』

11:18 ヨハネが来て、食べも飲みもしないと、  
人々は『あれは悪霊につかれているの  
だ。』と言い、

11:19 人の子が来て食べたり飲んだりしてい  
ると、『あれ見よ。食いしんぼうの大酒飲  
み、取税人や罪人の仲間だ。』と言います。  
でも、知恵の正しいことは、その行ないが  
証明します。』

バプテスマのヨハネはイエス様への信仰の道備  
えをするために神様から遣わされた器です。悔い  
改めのバプテスマを授けつつ、イエス様は自分よ  
りもすぐれたお方であると証したのです。さら

には、この方が預言に約束された救い主であ  
るのかどうかを確認するために、使いをよこ  
しました。

イエス様はご自分のみわざを示して、それ  
が旧約に預言された救い主と同じであることを  
暗示なさいました。ヨハネにはそれが分か  
るからでしょう。イエス様もまたヨハネがこ  
の時代のエリヤであることを示され、すべて  
が預言の通りであることを明示なさったので  
す。

このようにイエス様とその周囲の人々の出  
来事は明らかに旧約において預言されたもの  
です。しかし、それでも信じない者は反応し  
なかつたり、批判したりしました。私たちは、  
この救い主への信頼をますます強めていきま  
しょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の  
約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願  
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた  
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

